



家庭・地域・学校・行政が子どもたちのために

# 教育大綱を策定

「教育大綱」とは、「地方公共団体の教育、学術および文化の振興に関する総合的な施策について、その目標や施策の根本となる方針」をいいます。

法律の定めにより、市長が策定することとされており、このたび、教育委員会

委員との協議を経て、新たな『長門市教育大綱』を策定しました。

今後も、時代の変化に対応しながら、社会全体で教育に取り組むことにより、子どもたちの「生きる力」や「自ら学び、考え、行動する力」を育てていきます。

**基本理念**  
生涯を通じて自らを磨き、ともに高め、「知」をはぐくむ

## 基本目標 1

子どもたちの安全・安心を確保するとともに、質の高い教育環境を整備します

- ・安全・安心な教育を支える環境の整備
- ・質の高い教育に対応するための教職員の指導体制と教育環境の充実
- ・地域総がかりで子どもたちを育てる環境の整備

## 基本目標 2

子どもたちの個性を大切にしながら知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」をはぐくみます

- ・「確かな学力」を身につけるための教育内容・方法の充実
- ・子どもの発達段階に応じた豊かな心と健やかな体の育成
- ・特別なニーズに対応した教育の推進

## 基本目標 3

社会全体で、生涯学習の理念に基づく取組を推進します

- ・いつでもどこでも学べる機会の充実
- ・家庭・地域・学校の連携を強化し、学習成果を生かす協働の促進
- ・次世代への地域文化の継承

## 教育大綱推進の力点

教育大綱では、基本理念と基本目標を推進するため、4つの力点を定めています。

### 地域で見守り、育てる環境

そこに住んでいる人たちが地域に誇りを持ち、地域総がかりで子どもを見守り・育て、育った子どもが今度は地域を守っていく循環を大切にします。



▲油谷小学校のさわやかあいさつ運動

### 長門を愛し、故郷を誇れる子ども

長門市が大好きで自慢でき、ふるさとを誇りに思う心を持つ

子どもたちになるよう、地域で育てていきます。



▲通地区で唄い継がれる「通鯨唄」

### 郷土の歴史を知り、先人に学ぶ人

市民が長門市の歴史をしつかりと知り、金子みすゞ、香月泰男、村田清風など多くの先人・先達に学び、次の世代につなげます。



▲金子みすゞ記念館を見学する小学生

### グローバルな視点で、学び子ども

英語やICTを活用した教育に積極的に取り組むことにより、社会のグローバル化や、急速に進む技術革新などに柔軟に対応できる子どもを育てていきます。



▲電子黒板を利用し、よりわかりやすく

### 実践的な取組

### コミュニティ・スクール

- ・地域住民や保護者の声を学校運営に反映させます
- ・「未来を拓く学校教育」を推進するために、つながる学びを創る小中一貫教育を進めます



▲保護者の会が校庭に遊具を設置

### 地域協育ネット

- ・地域総がかりで子どもを育て、育った子どもが地域を創ります
- ・大人のよりそい、子どもの出番づくりを演出します



▲地域の人が家庭科の授業を支援している様子

### 地域とともにある小中一貫教育 長門みすゞ学園

長門市では、各中学校区の名とまりを「長門みすゞ学園」と名付け、小中学校の連続性や一貫性を重視して、9年間で子どもを育てる取組を推進しています。

また、5つのみすゞ学園では、地域の特性や児童生徒の実態を踏まえた小中学校共通の目標を設定し、「コミュニティ・スクール」や「地域協育ネット」の仕組みを活かした地域とともにある教育を展開しています。



▲家庭、地域、学校、行政が一体となった9年間での教育を推進